

番号：150845

国名：イラン

担当：地球環境部 防災グループ防災第一チーム

案件名：統合水資源管理能力強化プロジェクト詳細計画策定調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2015年12月中旬から2016年2月上旬まで
- (2) 業務M/M：
国内 0.55M/M、現地 0.70M/M、合計 1.25M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
6日	21日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：10月21日（12時まで）
- (4) 提出方法：専用アドレス（e-propo@jica.go.jp）への電子データの提出又は郵送（〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル）（いずれも提出期限時刻必着）

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」

http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_gt/20150618.html）をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
- (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 45点

②対象国又は同類似地域での業務経験	9点
③語学力	18点
④その他学位、資格等	18点
	(100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	イラン／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：なし
- (2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

イランは、年平均降水量228mm、国民一人当たり水資源賦存量1978m³/人・年（FAOQUASTAT, 2008）と、乾燥気候が卓越している。近年、農業、工業等の経済成長及び人口増加に伴い水需要は増加傾向にあり、表流水及び地下水の開発が進んでいる。同国は水利用の55%を地下水に依存しており、100mを超える深度からも取水が行われるなど、地下水の過剰揚水により地下水位の低下と地下水の枯渇を招いている地域もある。また、河川などの表流水については、水資源の偏在を補うための流域外導水やダムなどによる水資源開発を各州が独自に計画を立てており、統合的な調整が行われていない。

セフィードルード川は、イラン北西部にあるイラン有数の大規模河川で、その流域は8州にまたがり、流域面積は59,090km²である。国内の他の河川に比べて水資源が比較的豊かであり、流域内の人口は約473万人で首都テヘランの北西にあることからテヘラン首都圏への水供給源としても期待されている。また、下流域はイラン随一の稲作地帯を有する地域でもあり、水需要も非常に多い。このように、セフィードルード川はイランにおいて重要な役割を担っているにもかかわらず、総合的な水資源開発・管理計画がなく、水資源の最適配分・有効利用が喫緊の課題となっている。また、流域内上流と下流に位置する州がそれぞれの取水権を主張し、それぞれの州で収集された水文観測データを相互が信用しないという事態が発生している。かかる状況下において、イラン政府は我が国に対し、セフィードルード川流域の総合的な水資源管理計画の策定に係る協力を要請した。JICAは「セフィードルード川総合水資源管理調査」（2007年7月～2010年9月）を実施し、流域8州における適切な水資源管理及び水資源配分を行うための現状と課題整理及び総合水資源管理に係るマスタープランを策定した。その後、その調査で提言された、流域管理をマクロで行う組織の能力強化に対しての支援要請があり、これまでニーズ分析調査や協議等を行ってきた。

一方で、オルミエ湖はイラン北西部に位置し、かつては湖面積5,700km²、貯水量367億m³を有する、面積規模世界6番目の内陸塩湖であった。しかし、2000年頃から湖への流入量が減少し、それに伴い湖面積も縮小の一途をたどり、2014年11月時点での湖面積は1,860km²、貯水量21億m³をそれぞれ割り込んでいる。一連の湖縮小の原因は、長らく続く渇水及び流域内での水資源開発による農業用取水量の増加にあると言われており、湖縮小に対しての対策がイラン政府により各種検討されているが、具体的な縮小防止策は講じられていない。しかし、2013年8月にイラン大統領としてロウハーニー氏が就任したのを契機に、公約に掲げていたオルミエ湖救済策を次々と打ち出し、日本を含む国際社会への支援を仰いだ。これを受けて、JICAは、オルミエ湖流域の流出解析モデルを構築し水循環構造を把握することにより、様々な救済策の効果の定量的評価を行うために必要となる基礎情報の収集を目的とした「オルミエ湖流域水循環に係る情報収集・確認調査」（2014年11月～2015年12月予定）を実施しているところだが、今後もさらなる技術的支援を求められている。

上述した2つの支援要請に対して、水資源管理公社(Water Resources Management Company:WRMC)及びエネルギー省(Ministry Of Energy:MOE)（以下、カウンターパート(C/P)機関とする）との協議を行ってきた結果、セフィードロード川流域及びオルミエ湖流域の2つの流域における総合的水資源管理の推進及び水利用効率の改善のため、各流域を単位とした総合水資源管理能力強化プロジェクトを実施する方向で調整を行っており、今般、JICAは詳細計画策定調査を実施することとした。本調査は、イラン政府からの協力要請の背景、内容を確認し、先方政府関係機関との協議を経て、協力計画を策定するとともに、当該プロジェクトの事前評価を行うために必要な情報を収集、分析することを目的とし、プロジェクトに関わる合意文書締結を行う予定である。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み・手続きを十分に把握の上、調査団員として派遣されるJICA職員等と協力・協議・調整しつつ、協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。また、本業務従事者は、担当業務の報告書(案)を作成するとともに、他団員が担当する報告書(案)の取りまとめに協力する。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間（2015年12月中旬）

- ①要請背景、内容の把握、関連既存資料・情報（イランの水資源関連法制度、計画、過去の調査報告書等）のレビューを行う。
- ②担当分野に係る詳細計画策定調査計画・方針案を検討し、JICA地球環境部に提出する。

- ③担当分野に係る現地調査で収集すべき情報を検討した上で、イラン側関係機関※(水資源管理公社(WRMC)、地方水公社(RWC)、都市上下水道公社及び村落上下水道公社(UWWWC及びRWWC)、維持管理公社(OMC)、水利組合(WUA)、地方自治体等)への質問票(案)(英文)を作成して他団員の作成した質問票(案)との取り纏めに協力する。

※関係機関の詳細については、過去にJICAが実施した調査(例:イラン国セフィードルード川流域総合水資源管理調査)等を参照のこと。

- ④プロジェクトのPDM(Project Design Matrix)案、PO(Plan of Operations)案の担当分野関連部分を検討する。
- ⑤詳細計画策定調査団打合せ、勉強会及び対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間(2016年1月上旬~2016年1月下旬)

- ①JICAイラン事務所等との打合せに参加する。
- ②プロジェクト関係者に対して、プロジェクトの評価手法について説明を行う。
- ③イラン関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ④事前にJICAイラン事務所を通じて関係機関に配布した質問票を回収し、担当分野に係る追加情報・資料を収集・分析し、現状を把握する。具体的には以下のとおり。
- ア) イラン水資源分野における本プロジェクトの位置づけ
 - イ) 想定される協力内容に関するC/P機関の実施体制(財務状況、費用負担能力、組織体制、人員配置等)
 - ウ) 水資源管理分野の実施機関、関連機関の役割・関係
 - エ) 他ドナーの援助・活動動向
 - オ) 我が国の水資源分野における協力効果の発現状況
 - カ) 基本統計情報、既存資料、関連法令情報等
 - キ) 他ドナーの援助・活動動向
 - ク) 我が国の水資源管理分野における協力効果の発現状況
- ⑤PCMワークショップを開催し、同ワークショップのファシリテータを行い、その結果を整理・分析する。また、C/P機関に対して、PDMの構成(項目の関連性やモニタリング指標)を説明する。
- ⑥評価指標設定のための情報を収集し、ベースライン調査及びモニタリングの実施方法及び方向性等を検討・提案する。
- ⑦総合水資源管理に係る能力強化を目的として実施するパイロット流域(例:ザンジャン、オルミエ)の候補地域の現地踏査を行い、社会経済状況(都市・村落の人口含む)についての情報を収集する。
- ⑧PDM(案)(和文、英文)、PO(案)(和文、英文)の作成に協力する。
- ⑨専門家・機材・研修等投入計画、専門家業務内容の検討に協力する。
- ⑩評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表(案)を作成する。

- ⑪M/M案及びR/D案の取り纏めに協力する。
- ⑫現地調査結果をJICAイラン事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間 (2016年1月下旬～2月上旬)

- ①事業事前評価作成(案)(和文)の作成への協力を行う。
- ②帰国報告会、国内打合せに参加し、担当分野に関する結果を報告する。
- ③担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案)(和文)を作成し、全体の取り纏めに協力する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出報告書等は以下のとおり。
なお、本契約における成果品は(1)～(2)のすべてとなる。

- (1) 詳細計画策定調査報告書(案)(和文1部)
- (2) 事業事前評価表(案)(和文1部)

上記成果品(1)の体裁は簡易製本とし、併せて(1)～(2)については電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、JICA「コンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空券及び旅費(日当・宿泊料)は契約に含む(見積を計上して下さい)。
航空便経路：成田/羽田⇄ドバイ⇄テヘラン、または成田/羽田⇄ドーハ⇄テヘランを標準とします。ただし、イラン国内移動に係る航空券はJICAイラン事務所より支給するため見積書への計上は不要。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は、2016年1月8日～1月28日を予定しています。なお、本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制 本業務に係る調査団構成は、以下のとおり。

- ・総括 (JICA)
- ・技術参与 (水資源) (JICA)
- ・協力企画 (JICA)
- ・評価分析 (コンサルタント)

③便宜供与内容

当機構イラン事務所及び調査団による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（JICA職員等の調査機関については、
同上することとなります。）

エ) 通訳備上

必要に応じてJICAが日本語⇄ペルシア語の通訳を手配します。

オ) 現地日程のアレンジ

JICAがアレンジします。

キ) 執務室スペースの提供

なし

(2) 参考資料

①本業務に関する関連案件の資料が当機構のウェブサイトで公開されています。

<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000256833.html>

・「イラン国セフィードルード川流域 総合水資源管理調査」報告書

②以下の資料をJICA地球環境部防災グループ防災第一チーム(03-5226-9577)で配布します。「イラン国オルミエ湖流域水循環に係る情報収集・確認調査（現在実施中）の案件概要」

(3) その他

①業務実施契約（単独）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

②イランは公用旅券での渡航となるため、契約締結後、早急に公用旅券発給手続きを行う必要がある(参考：

http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/ku57pq00000x9ife-att/abr_official_passport.pdf)。

③イラン国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室及びイラン事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講ずることとします。

- ④本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイドンス(2014年10月)」の趣旨を念頭に業務を行うこと。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談するものとする。
- ⑤水資源管理分野に関する業務及びペルシア語での業務経験があることが望ましい。